

# 病害虫発生予察情報

令和4年7月29日

## 病害虫発生予察情報（飛騨地域） 8月予報

7月の前半は気温が高く推移し、後半は雨の日が多くなりました。これまでの傾向としては、害虫の発生が多くなっていますが、収穫作業が忙しくなり、他のほ場管理が遅れて、病気の発生も懸念されます。よく観察し、早期発見・早期防除にこころがけましょう。

【水 稲】斑点米カメムシ類の本田への侵入が多くなっています（次ページ参照）。斑点米の抑制には、適期防除に努めることと、地域で一斉に防除を実施することが重要です。また、いもち病が発生している地域では、併せて防除を実施しましょう。

【果 樹】樹幹害虫のコスカシバが多めの発生となっており、秋まで継続的に発生するので、収穫終了した園での防除等も検討しましょう。また、りんごの斑点落葉病、もものせん孔細菌病等の発生している園では、台風通過後等の被害の拡大に注意しましょう。

【野 菜】オオタバコガやカブラヤガ等のチョウ目のフェロモントラップの誘殺が多くなっています。防虫ネット等の設置がない露地品目は、被害初期の防除で、最小限に食い止めましょう。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（8月）

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬		
水	穂 いもち	やや多	<感染>		<発病>				<b>穂いもち</b> 発病してからでは手遅れとなるので、予防防除を実施する。葉いもちが発生していても穂いもちが発病することもある。	
	紋 枯 病	並	<発生最盛期>							
	セジロウンカ	やや少	<幼虫最盛期>			<成虫最盛期>				
	斑点米カメムシ類	多	<出穂後本田に侵入>							
稲	防 除 適 期		▲←穂いもち(①各品種の穂ばらみ～出穂期、②乳熟期)→▲ ▲←斑点米カメムシ類(地域一斉防除が効果的)→▲						<b>斑点米カメムシ類</b> 茎葉散布剤での防除は、穂揃期およびその7～10日後の2回実施が効果的。多発時は、粒剤のみでは効果が劣るので、茎葉散布剤でも実施する。	
	カメムシ類	やや少	< 越 冬 世 代 成 虫 ・ 新 世 代 成 虫 >							<b>カメムシ類</b> 新世代成虫の発生時期となる。園での発生を確認したら防除を実施する。
	シンクイムシ類	やや少	<幼虫最盛期>							
	斑点落葉病(りんご)	並	< 感 染 拡 大 期 >							
果樹類	防 除 適 期		▲← カメムシ類(果樹園飛来時) →▲ ▲ シンクイムシ類(防除) ▲ ▲← リンゴ 斑点落葉病 →▲						<b>斑点落葉病</b> 盛夏の乾燥期は一時停滞するが、秋に雨が多いと再び進展する可能性がある。	
	べと病	やや少	<高標高地での発生に注意>							<b>べと病</b> 高標高地や低温が予想される場合は、予防散布を行う。
	コナダニ類	並	<盛夏過ぎの発生に注意>							
	防 除 適 期		▲←べと病(予防)→▲ ▲←コナダニ(防除)→▲							
ホウレンソウ	灰色かび病	並	< 連 続 発 生 >						<b>灰色かび病</b> 花がらや葉先枯れは速やかに除去する。定期的防除で予防に心がける。	
	葉かび、すすかび病	並	< 連 続 発 生 >							
	防 除 適 期		▲← 各種病害(ローテーション防除) →▲							
トマト	タバコガ類	やや多	< 連 続 発 生 >						<b>タバコガ類</b> 防虫ネットで被覆する。ナス等の露地栽培は、発生初期に防除を実施する。	
	アブラムシ類	並	< 連 続 発 生 >							
	防 除 適 期		▲← タバコガ類(発生初期) →▲ ▲← アブラムシ(定期防除) →▲							
	防 除 適 期		▲←							
野菜類	防 除 適 期		▲←						<b>アブラムシ類</b> ほうれんそうでは出荷後のクレームがあるので、よく観察する。	

注) ▲、▲←→▲：防除適期

調査データ ほか

<斑点米カメムシ類の発生について>

畦畔では多くのカメムシ類が確認され、出穂の早い品種では、多くのカメムシが本田に侵入しています。特に下呂市では、斑点米カメムシ類の発生が多い状況です。



写真 20回振で入ったカメムシ類(金山町の水田)

畦畔のすくりとり調査結果(20回振、7月中旬調査)

単位：頭

町村名	アサジカスミカメ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	ホソハリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	クモヘリカメムシ	その他斑点米カメムシ	合計
萩原町	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	39.0
金山町	0.0	0.0	2.3	0.7	0.0	9.0	0.0	12.0
国府町	2.6	4.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	8.3

出穂後の本田でのすくりとり調査結果(20回振、7月下旬調査)

単位：頭

町村名	アサジカスミカメ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	ホソハリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	クモヘリカメムシ	その他斑点米カメムシ	合計	品種	生育ステージ
萩原町	45.0	5.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	53.0	たかやまもち	穂揃期
金山町	0.0	0.0	4.0	4.0	1.0	6.0	15.0	30.0	あきたこまち	穂揃期
国府町	0.0	7.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	8.0	たかやまもち	出穂期

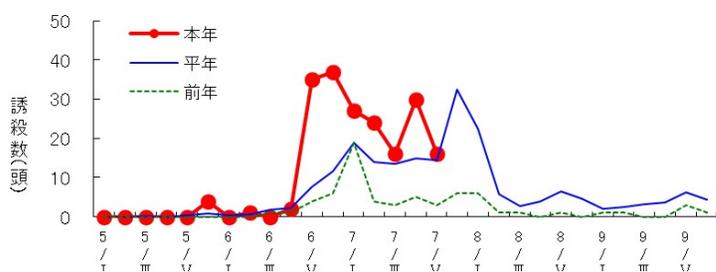


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメ誘殺数の推移(下呂市萩原町)

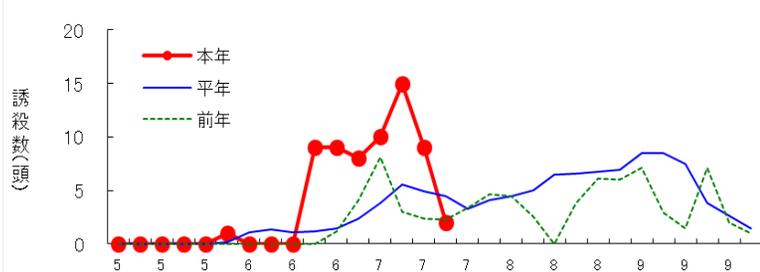


図2 フェロモントラップによるコスカシバ誘殺数の推移(飛騨市古川町)

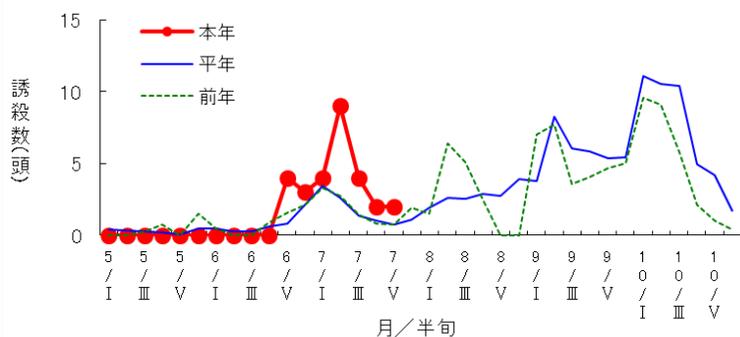


図3 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移(下呂市御所野)

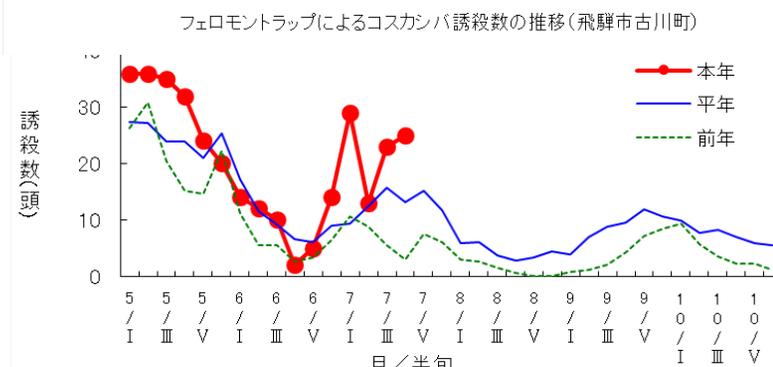


図4 フェロモントラップによるカブラヤガ誘殺数の推移(高山市丹生川町)

**6~8月は「農薬危害防止期間」です。**

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

**東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 7月28日発表)**

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込みです。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。(トップページQRコード→)

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2934.html>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468



トップページ



BLASTAM  
(いもち病情報)